



同窓会会報

発行：獨協埼玉高等学校同窓会 発行人：玉山 栄一
〒343-0037 埼玉県越谷市大字恩間新田宇寺前316
☎048-977-5441 FAX048-977-2031
URL <http://www.dokkyo-saitama.com/>



母校の現在の様子

校長 百合 壽紀

去る6月29日(土)、第22回同窓会総会・懇親会が例年通り開催されました。お忙しい中、石井元校長、加倉井先生、小栗先生、長沼先生、中山郁雄先生が駆けつけてくださり、なごやかな懇親会を催すことができました。

さて、獨協埼玉高校では勉強や部活動、行事などあらゆることに取り組むことによって全人格的な発達を目指しています。6月5日(水)には高校の体育祭が開催され、天候にも恵まれて、規律を保ちつつも躍動感あふれる、充実した体育祭となりました。また、部活動と勉強にも生徒たちは努力を重ね、高校3年生でも部活参加率は8割前後と、文武両道をか

なりの程度達成しています。

部活動について言えば、どの部も活発に活動していますが、今年度は特に、写真部とサイエンス部が全国大会に出場することとなりました。7月下旬に大分県で開催される全国大会で発表や展示を行いました。

勉学面では生徒たちの学びを援助するために、すべての普通教室に、黒板の上に据え付けるタイプのプロジェクターを設置し、授業で動画や写真などを手軽に活用できるようになりました。また、関湊元理事長の銅像がある中庭を囲むように、窓ガラスに沿って生徒自習用の机を配置しました。照明も取り付け、夕方暗くなってからも使用できるようになりました。

獨協埼玉は少しずつながらも前進を続けています。ぜひ一度母校の現在の様子を見ていただければと願っています。



“個” だわりをもって

同窓会長 玉山 栄一

皆様におかれましては日頃より同窓会へのご協力、ご理解をいただき誠にありがとうございます。

今年5月に元号が令和となり、来年は56年ぶりとなる東京オリンピックが開催。日本の社会は新しい時代へと突き進んでおります。

我が獨協埼玉高等学校も来年で創立40周年を迎えようとしています。2020年は我々獨玉生にとっても、まさに節目の年になります。

10年ひと昔とは言いますが、今や5年いや1、2年でめまぐるしく世の中が変わっていく時代です。こうした変化の中では、一己の決断力、つまり“個”の確立が問われる場面が多々あるかと思われます。“個”が充実していなければ強い組織も生まれず、良い結果に至りません。

獨協埼玉は個性豊かな人材を育成する、“個”を伸ばしてくれる学校です。同窓会の皆様におかれましては、どのような場面に遭遇しても慌てることなく、己の“個”を信じて突き進んで頂ければと思っております。

少しでも皆様のお役に立てる同窓会でありたい。何卒よろしくお願い申し上げます。

会報発送停止について

平成10年10月に発足した獨協埼玉高等学校同窓会の会員は、37期13,201名となり、会報の発行や総会・懇親会の開催、ホームカミングデー・まほろばの会、在校生の支援など、さまざまな活動に取り組んでまいりました。

同窓会の事業運営費として、1期～17期の同窓生については、振込用紙を同封し、みなさまに会費納入をお願いしてまいりました。しかし、同窓生は毎年増加する一方、会費納入が伸び悩んでおり、会報の発送が事業運営費を圧迫する状況となっております。

そこで、卒業生の皆様に会費納入を改めてお願いするとともに、会費未納の会員の方々については会報の発送を段階的に停止させていただくことと致しました。同窓生の皆様には趣旨をご理解いただくとともに、未納の会員におかれましては、会費の納入にご協力いただきますよう、重ねてお願いする次第です。

今後とも、獨協埼玉高等学校ならびに同窓会の発展にご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

獨協埼玉高等学校同窓会 玉山 栄一

※ホームカミングデーを区切りとして、会費未納の方への会報発送を停止させていただきます。

高校 写真部 3年1組 中陳 葵さん

①あなたの活動実績を教えてください。

☆平成30年度

埼玉県高等学校東部地区写真連盟 写真展 自由部門
最優秀賞「音が聞こえる」

埼玉県高等学校写真連盟 写真展 テーマ部門

優秀賞「君を待つ放課後」全国大会出場

埼玉県芸術文化祭第47回私学文化祭作品展 写真部門
県知事賞「夕焼けの味」

埼玉県高等学校東部地区写真連盟 写真展 自由部門
優良賞「午後4時50分」

☆令和元年度

埼玉県高等学校写真連盟 写真展 自由部門

奨励賞「私を魅て」

全国高等学校総合文化祭 出場「君を待つ放課後」

②普段、どのような活動をしているか紹介してください。



撮影はもちろんですが、それよりも作品を出すためのパネル張りなどの準備時間が多いです。大会前になると、自分の出す作品作りのためパネル製作から印刷、貼り付け、梱包まで行います。月に一度ほど、校外撮影会があり、夏休みには合宿にも行きます。校外撮影

後は部内で講評会を行ったりします。技術向上のため動画を見たり、課題を決めて校内撮影を行ったりしています。学校行事（入学式や体育祭）やPTAからの撮影依頼時などにも撮影を行います。

③活動をしている中で大変だったこと、苦労したことを教えてください。

パネル貼りなどの作品作りが大変でした。木の板に黒い紙を張り付けるのですが、少しでもしわが寄ってはいけなくて、きれいにできるまで何度もやり直しを行います。また、写真を貼る時に、まっすぐに貼れないと全てやり直しになるので全神経を集中させて貼っていました。

④活動している中での喜びややりがいを教えてください。

賞を取れた時は、もちろんすごく嬉しかったです。でもそれよりも、写真を見て直接感想を言ってもらえるのが一番嬉しかったです。家族でも、友人でも、先生でも、たまたま写真を見に来た知らない人でも、私の撮った写真を見て笑顔になってくれたり、声をかけてもらえたりしたときは良かったです。それはお褒めの言葉やアドバイスや写真の意図の考察など、色々ありましたが、全て私のために作品を通して言ってくれたことが嬉しかったです。あとは、写真は「時」の瞬間を切り取る作品なので、思い出として形に残るのが、やりがいを感じます。とくに全国に行った作品は写真部の仲間と撮り合った楽しい思い出がたまっているので、その作品がこうした結果を残すことができ本当に嬉しく思います。

インタビュー 活躍する現役生

①あなたの活動実績を教えてください。

☆平成30年度

埼玉県科学教育振興展覧会中央展兼日本学生科学賞埼玉地区
展覧会 優良賞受賞

第47回私学文化祭

埼玉県私立中学高等学校協会保護者連盟賞受賞

理科教育研究発表会（高等学校の部）奨励賞受賞

日本農芸化学会主催 ジュニア農芸化学会2019 出場

☆令和元年度

全国高等学校総合文化祭 自然科学部門 出場

②普段、どのような活動をしているか紹介してください。

サイエンス部では大きく、物理、化学、生物、地学の4分野にわかれ、その中でそれぞれが、興味のあることについて班をつくって研究しています。私は、食虫植物のウツボカヅラを研究対象とし、消化吸収について日々、実験しています。

③活動をしている中で大変だったこと、苦労したことを教えてください。

私は実験で植物を扱っているのですが、気温差等、環境の変化によるストレスで弱ってしまうことがあるため、栽培が

難しかったです。日々の水やりと観察は楽しくもあり大変でもありました。また、研究を発表する際、先生方の手助けを頂きながら期日までにいかにわかりやすく、ポスターを仕上げるかという点では苦労しました。

④活動している中での喜びややりがいを教えてください。

実験の結果から考察して新しい気づきがあったり、それまでの仮説が裏付けられた時にやりがいを感じます。そして、それらを発表したとき、私たちの研究内容に興味を持ってもらい、助言や「面白い研究だね。」などの感想を頂くときは嬉しく、部活をやってきてよかったと思います。



高校 サイエンス部 3年8組 落合美智さん

退職にあたって

●村岡 健二先生（国語科）

今日は井の頭公園の入り口のスタバでこの文章を書いています。日差しの眩しい夏日になっています。

退職に関してはいろいろありがとうございます。お祝いをいただいたり、祝う会をしてもらったり感謝に堪えません。皆さんとじっくりと話をする間もなく離れてしまい申し訳ありませんでした。

母親の施設には今まで電車とバスを乗り継ぎ二時間近くかかっていましたが、現在は自転車ですら十分程度で訪問する機会も多くなり、彼女の笑顔も多くなったように感じます。物忘れの激しい母ですが、息子が近くに来たことだけは認識できているようです。

多少の時間のゆとりが生まれ、京都旅行に出かけたり、昔の友人に会う機会も増えました。先日ご近所になった目黒前事務長と飲みに行った時、組合との団交の話になりました。「あんなに激しく上司に意見を言ったら銀行ではどうなりますか」と質問したところ「一生出世できないだろうね」という答えがかえってきました。でも話をしている中で、「それが獨協埼玉のいいところではないか」という話になりました。学校の将来や生徒のことを中心に考え、忌憚のない意見の言える組織が教育の場には必要だと思います。いつまでもそうした学校であって欲しいと願ってやみません。

●古田 辰也先生（社会科）

学生時代の課外活動は、現役引退後の生活に潤いをもたらします、と聞いたことがありました。なるほどと思い、これまで演劇部顧問を真剣かつ本気で取り組んできました。妥協はできるだけせずに、高校演劇特有の世界観から脱皮し、プロ・セミプロ劇団をお手本に、少し背伸びした芝居作りを心掛けてきました。古田顧問時代の演劇を経験された皆さんが、どれだけ将来に役立つのか、この先何十年後に答えが出ると思います。

昨年度末で引退しました私は、その潤いというものを実感するべく時を迎えたことになりましたが、現実には、まだその時期には到達していないようです。

37年間、獨協埼玉で勤めさせていただき、「感謝」の一言しかありません。振り返ると様々ありすぎて、語るには連載企画を立ち上げなければならぬでしょう。ただ、定年2年前

の引退についてはこの場をお借りして語らせていただきます。

東京在住で埼玉県で仕事をしてきました私にとりまして、自分の生まれ育った地である台東区とはただ住居があって普段は夜間の就寝場所ではない場所でした。日常の居住地との触れ合いは、回覧板を引き継ぐことと町会費納入しかないことが気がかりでした。最近ではマンションなどが建てられ新住民が増えているようですが、町会に所属することなくほとんど地域との関係は無いようです。ただ、そこに住んでいるという状況です。そうです。私も同じ状況に陥っていました。引越しをしたことのない我が家にとって、地域に世話になっている家族にとって、自分の気持ちとして、これでいいのだろうかと思うことがありました。選歴を過ぎたのであれば、地域への恩返しができないものだろうかとの思いから、元気なうちに地域貢献をしたいと考え、2年前倒しの退職となりました。

ここまで書きますと、えらく格好つけていると思われた方が多いと思います。そうです、私にとってこんなに格好いいことは、これまでになかったです。しかし、潤いの実感がまだと同じ、現実はなかなか進んでいません。早速、来年開催の東京オリンピック・パラリンピックのボランティアにはエントリーしましたが、どうも年長者は後回しのようです。

そんな状況でも、有難いことに獨協埼玉非常勤講師のお話があり、また埼玉私教連からは書記局のお誘いがあり、今年度(令和元年)は埼玉県でのお勤めが続いております。そんなこんなで、のんびりとの日々とは程遠い、これまで以上に時間に追われること、移動距離が長くなったことで慌ただしく過ごしています。身体は元気ですので、これが何よりで、組合関連の新しい仕事に当惑しながらなんとか過ごしています。

最後になりましたが、同窓生の皆さんに一言。私学助成運動はご存じですか？高校生時代に緑の署名をお願いした請願活動です。今、世の中では学費無償化への動きが話題となり、政府や文科省でも具体的政策が検討され、今後、政策内容の改訂が展開されます。OECD加盟国の中で、各家庭の負担する学費が最も高いとされているのが我が国です。今後、学費を公費で賄うことに対してご理解をいただき、是非、保護者となられた皆さんで話題としていただき世論へと拡大して欲しいです。母校を想うとともに社会への訴えもお願いしたいです。

新しい風

新任教員紹介



井上 修弥（社会科）

今年度より本校で勤務することになりました、井上修弥と申します。担当教科は社会科で、中3・高2の副担任、高校女子バスケットボール部の顧問を務めています。

中1の地理と中3の公民を担当していますが、生徒の好奇心旺盛さに、刺激を受ける毎日です。授業中も受身にならず、わからないことや気になることがあれば、積極的に手を挙げ、質問をする。そのような積極的で、活気に満ち溢れた生徒が多く、獨協埼玉の良さを日々、感じています。

教科に限らず、部活や学校行事、その他さまざまな活動を通して、生徒の持つ好奇心をさらに引き出し、より高いレベルに達することができるように、貢献できればと考えております。

一緒に悩みながら、時にはぶつかり合うようなこともあるかもしれませんが、すべての生徒が楽しく安全な学校生活を送れるように精一杯サポートして参ります。どうぞ、よろしく願いいたします。



古屋 葉月 (国語科)

こんにちは。今年度より本校で勤めることになりました、古屋葉月と申します。中学1・2年生の副担任と、中学女子バレーボール部の顧問をしています。担当教科は国語です。

4月に働き始めた頃は、生徒たちが広い敷地の中でのびのびと過ごしている姿が印象的でした。あれから3ヶ月が経ちましたが、初めに抱いた印象は裏切られることなく、より鮮やかな形で日々の様子を感じられるようになりました。もちろん、何の悩みもなく学校生活を送れている生徒が全てではありません。それでも前進しようともがいたり、少しでも勇気を出したりしたとき、そのことに気づいて応援できる教員でありたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。



清水 信行 (英語科)

今年度より新たに着任いたしました、英語科の清水信行と申します。授業は中2を1クラス、高1を4クラス担当しており、高1と高2で副担任をしております。本校で勤務を始めてから3か月が経過し、少しずつ本校の仕事にも慣れてまいりました。私は本校の卒業生ではありませんが、大宮で生まれ育ち、高校時代を東部で過ごしたため、本校について様々な話を聞いていましたが、それらと実際は大きく異なっていました。

私は、かつて本校の生徒について漠然と「おとなしい」というようなイメージを抱いていましたが、実際には実に皆多様で個性的であると感じています。私は、生徒たちが持つポテンシャルを引き出し、成長を後押しする役割を担って「授業を通して人に力をつける」教育活動を実践していきたいと思っています。

これからも同窓生の皆様方のご支援を賜りながら、本校の質の高い教育活動に貢献できるよう精進してまいります。

第40回 蛙鳴祭

9月14日(土)・15日(日) 10:00~15:00



同窓生の皆さま、今年も蛙鳴祭の季節となりました。今年のテーマは「^{むかえる}夢蛙」に決定致しました。獨協埼玉が迎える令和初の蛙鳴祭。お越し頂く皆様を最高のおもてなしでお迎えできるよう、只今心を込めて準備に励んでいます。感動的に、あるいはコミカルに、時にはあっと驚くような「むかえる」を生徒たちは表現してくれることでしょうか。是非、活躍の様子をお楽しみください。生徒・教職員一同、お待ちしております。

蛙鳴祭ステージ タイムテーブル ▶ 第1体育館

9月14日(土)		9月15日(日)	
10:25~11:45	吹奏楽部	10:20~11:10	獨協クラス
11:45~12:35	コーラス部	11:10~11:30	ソングリーディング部
12:35~13:45	演劇部	11:30~12:40	演劇部
13:45~14:05	ソングリーディング部	12:40~13:30	コーラス部
14:05~14:55	獨協クラス	13:30~14:50	吹奏楽部

入試ミニ説明会
場所：中学棟1階小ホール

中学 9月14日(土)
11:00~12:00

高校 9月15日(日)
11:00~12:00/13:00~14:00

第22回 同窓会総会・懇親会開催

今年は6月29日(土)に第22回同窓会・懇親会が開催されました。あいにくの雨模様でしたが、たくさんの方が参加してくださいました。総会では事業報告・会計報告・令和元年度事業計画及び予算案などが承認されました。その後、懇親会では石井先生、長沼先生、中山先生など、多くの退職された先生方に参加していただきました。先生方には退職されてからの生活についてお話を頂き、大変盛り上がりしました。その他、久しぶりに学校へ来られた卒業生も参加していただき懐かしい話に花を咲かせていました。今後も、年齢に関係なく様々な卒業生が交流できるような行事になればと思います。是非、総会や懇親会に足をお運びください。



決算・予算報告

平成30年度 同窓会決算書		支出の部	
H30年4月1日～H31年3月31日		次年度繰越金	33,687,885
収入の部		総会・懇親会費用	795,090
前年度繰越金	32,375,716	会報費	1,142,171
終身会費卒業生	3,640,000	幹事会費	10,000
終身会費既卒生	60,000	同窓会データメンテナンス代	27,108
利息	150	ホームカミングデーデータ代	5,940
総会・懇親会会費	86,000	HP 関連	24,864
		卒業証書フォルダー	440,990
		蛙鳴祭パンフレット紙面代	18,828
		慶弔費(花束)	9,000
収入計	36,161,866	支出計	36,161,866

令和元年度 同窓会予算(案)		支出の部	
収入の部		総会・懇親会費用	800,000
38期生 終身会費	3,600,000	会報費	1,400,000
総会・懇親会費	100,000	幹事会費	50,000
H30年度より繰越金	33,687,885	慶弔費(花束)	30,000
		卒業アルバム保管用	10,000
		企画費	500,000
		卒業証書フォルダー	500,000
		HP 関連	25,000
		蛙鳴祭パンフレット紙面代	30,000
		予備費	34,042,885
収入計	37,387,885	支出計	37,387,885

部活動紹介



「美術部の現在形」

会報担当者からの依頼を受けて、美術部の紹介をする機会をいただきました。現在顧問は、国語科の小田島啓司が担当しています。美術部は四年目です。前任者の長沼先生と大山先生に比べると経験も浅く、諸先輩方

差し置いて歴史を語るのは基だ僣越ではありますので、美術部の今後の展望を中心に据えて、原稿用紙を見立てた白いキャンパスに色を付けていきたいと思います。

顧問の私がイメージしているクラブ活動のありようは、アートの感覚を日常の学校生活の中に少しでも入れていければ、というものです。もちろん、その中から本格志向のアーティスト候補生たちが出てくれば嬉しくもありますが、まずは年に一回の学校祭の企画「バウハウス」はもちろん継続しつつ、試行錯誤を重ねています。

具体的には、合宿の企画、立案(本年度夏は諸事情により休止しています)…昔、修学旅行で「美術館」をコースに入れたことがありましたが、絵画に興味を深く抱く生徒ほど、一つの絵をいつまでもどこまでもジッと見つめて帰りがたらないのが印象的でした。それをヒントに、「見ただけ作品を見る」を要素に合宿を組む流れを作っていく段階です。クラブはどちらかといえば「個」重視の集団なので、メンバーの親睦と時間的な贅沢をすることが、現状での合宿のコンセプトです。

また、アートの日常化については、美術室前の三角形の廊下部分のスペースの有効利用を考えることから始めています。常設展示できるスペースを有するクラブ…カフェやレストランのようなスタンド黒板の制作も、部員の自発的意志で行っています。そのためにパネルを塗り替え、クラブ費からも頑強で展示が容易なパネルを少しずつ購入しています。

私自身のことではありますが、大学時代のサークル活動は「美術研究会」で、外部会場や大学キャンパス内での展覧会企画は「昔とった杵柄」で、思い入れもあります。都内の空間の少ない大学の美術サークルに比べると、水曜以外は放課後にフルに美術室を使うのは、アート環境としては充実そのものです。美術の教員ではなく、技術指導でそれほど貢献できない顧問としては、この環境充実がまずは使命なのかな、と考えています。幸いにして美術室をお借りしている本校美術担当の先生方にもたくさんのアドバイスを頂戴していて、顧問の頼りなさをカバーできる環境があるのはありがたい限りです。

生徒の現状は、部員の数が学年ごとにまちまちですが、現在の高校3年生と中学2年生は二桁を超えています。中2は学年の割弱が美術部員という計算になります。男子部員は中学2名、高校6名となります。美術部の男子は決して群れることのない、独立心強い、頼りになる存在です。女子たちは、各々が確固たる「こだわりポイント」を持つ、頼りになるアーティスト感性溢れる集団です。学校祭やクラスTシャツのデザインに貢献度が高い部員もいます。

アーティストは迎合せず、作品で自己主張を!という理想を掲げつつ、中学生高校生と併走できることは何かを模索する日々です。平成の終焉の直前に、生徒からの提案で「外部の展覧会に出たい」ということがあり、数年ぶりに越谷市展に出品しました。ほとんどが社会人の作品の中で、入選を果たしました。またここ二年は学校祭でも、部員からの斬新な提案で「インスタ映えスポット」(※本校生徒の学校祭中のスマホ使用は禁止です)や「共同制作」を始め、顧問としてはこれが根付くことを期待しています。

令和に改まった春、生徒の数名は「私学文化祭」(11月3・4日@埼玉会館)への出品を決め、この夏に作品制作に取り組んでいきます。これも一つの刺激にして、発信源としての美術部が盛り上がりつつあることを大いに期待しています。

卒業生の皆様も学校祭の時にはぜひ美術室にお越しいただき、忌憚ないご意見や温かい励ましをいただくことができれば、顧問・部員共々、幸甚に存じます。

(顧問 小田島 啓司)

まほろばの会 35期

報告



2019年2月16日(土)に、第35期「まほろばの会」が開催されました。約1年前から幹事の方々の努力お陰で当日は100人以上の参加者が集まり、旧交を温めました。

卒業をしてからまだ2年弱ですが、本校の生徒であった頃の思い出の詰まった食堂で、懐かしい顔が集まりました。久

案内 36期生「まほろばの会」開催について

2020年2月15日(土)午後 食堂に集合

2018年3月卒業の36期生のみなさん、お元気でしょうか？

オリンピックイヤー、景気も徐々に上向きになっている(?)2月、本校食堂にて「第2回成人式」としてのまほろばの会を実施します。担任はじめたくさん先生方とともに20歳をお祝いし、楽しい時間を過ごしましょう。たくさん36期生とお会いできることを楽しみにしています。

しぶりに会う生徒達は制服姿でなかったためか、少し大人びた雰囲気でした。

在学中の思い出話では遠い昔の話のようであるのにも関わらず、つい最近のことと勘違いをしてしまうくらい鮮明に当時の記憶が甦ってきました。また現在の様子、特に大学生としてどのような生活を送っているなど興味深い話を聞くことができ、有意義な時間を過ごすことができました。そんな中、改めて獨協埼玉生は卒業しても生徒も教員も固い絆で結ばれているなど再確認しました。

まだ先の話ですが、20年後の40歳になったら「ホームカミングデー」に集ってもらい、再び懐かしい話に花を咲かせてもらいたいと思っています。またいつでも学校に遊びに来てください。

最後になりますが、参加された皆さんそして忙しい中準備をしてくれました幹事の方々に心から感謝申し上げます。

教員 酒井 直樹

教育実習を終えて

●田代 裕也

私は母校で3週間教育実習を行うことができたことに感謝しております。実習期間中、私自身の至らない点多々ありましたが、多くのことを学びました。

まず学習指導に関して、何事も意図をもって授業作りをすることが大切だと教わりました。1つの発問や板書をとっても、生徒に何を理解させたいのかを明確にすることが必要だと感じました。

次に生徒指導に関して、生徒に何か伝えるときは、話す順番を考え、自分の言葉で伝えるなどの工夫が必要と学びました。生徒と真摯に向き合い、信頼関係を築き上げることで初めて言葉に重みが生まれることを実感しました。

お忙しい中、実習生として受け入れていただきありがとうございました。

●兵藤 里咲

教育実習では、授業をすることはもちろんのこと、体育祭や部活動を通じてたくさんの生徒と関わることができました。

体育祭では、生徒が真剣に取り組む姿を見て懐かしいと思うと同時にキラキラしている姿に羨ましさを感じました。

また、実習が始まった当初は緊張してなかなか自分から生

徒に声をかけられませんが、日に日に自分から声をかけられるようになりました。生徒とたくさん話ができるようになってから、毎日がとても楽しかったです。

実習が終わった今、授業についての反省点はたくさんありますが、楽しくてあっという間の3週間でした。そして、学生の頃とは違った視点で学校を眺めることができ、とても貴重な経験となりました。お世話になりました。

●山中 真樹

私は母校で教育実習を行い、充実した3週間を送れたことを大変嬉しく思います。実習を通して、特に教科指導と生徒指導について深く学ぶことができました。

まず、教科指導で主に学んだことは、生徒へ伝える気持ちをもって授業を行うことの大切さです。教員の熱意は生徒に刺激を与え、生徒の関心にも影響します。生徒が教科に興味を持つように、身近にある情報を生徒に届けるよう努めました。

生徒指導については、生徒にけじめをもって接することの大切さを学びました。リラックスする時ときちんとすべき時で緩急をつけて接することで、生徒とけじめのある関係を築きました。

今回の教育実習の貴重な経験を活かし、指導力のある教員になれるよう精進します。

INFORMATION

中学入試

- ◆募集 男女160名
 - ◆学校説明会
 - 第1回 9月22日(日) 10:00~
 - 第2回 10月20日(日) 10:00~
 - 第3回 11月23日(土)祝 10:00~
 - 第4回 12月15日(日) 10:00~
 - ◆入試
 - 第1回 1月11日(土)
 - 第2回 1月12日(日)
 - 第3回 1月17日(金)
- ※本校と大宮会場の2会場で実施(第1回)

入試



高校入試

- ◆募集 男女160名
 - ◆学校説明会
 - 第1回 9月22日(日) 13:30~
 - 第2回 10月20日(日) 13:30~
 - 第3回 11月23日(土)祝 13:30~
 - 第4回 12月15日(日) 10:30~
 - ◆入試
 - 第1回 1月22日(水)
 - 第2回 1月23日(木)
- ※詳細は本校HPでご確認ください。

同窓会役員人事紹介 (括弧内数字は卒業期)

理 事	事務局総務	清瀬 雄平 (15)	平井 隆介 (26)	石田 えみり (33)	丸田 航輝 (37)
会 長	高田 晶子 (10)	小林 直樹 (15)	池永 佳央 (27)	宮田 樹弥 (33)	堤 愛結 (37)
玉山 栄一 (1)	幹 事	深瀬 和之 (16)	高橋 知美 (27)	奥山 浩基 (35)	高橋 夏希 (37)
副会長	片桐 岳信 (1)	仲田 英紀 (17)	荻野 克真 (27)	金子 貴 (35)	荒木 政飛 (37)
永島 健次 (3)	小野 岳二 (2)	岩田 寛史 (17)	安藤 慶恭 (27)	多ヶ谷美生 (35)	多ヶ谷直央 (37)
竹内 友洋 (13)	桑嶋 優紀 (3)	坂本 育美 (18)	市原 泉岐 (27)	砂押 友哉 (36)	澤田 颯太 (37)
会計	森脇 淳 (5)	関 淳一郎 (18)	芳賀 大輝 (28)	石上 雄大 (36)	青木みさと (37)
佐藤 高士 (21)	小久保博史 (6)	松本めぐみ (18)	加美山紘子 (29)	小島 瑞生 (36)	イクバル・MD・
鈴木 大州 (23)	角田 裕孝 (6)	梨本 佳世 (19)	中前 千佳 (29)	宇佐神カナ (36)	ムミト (37)
会計監査	酒井 直樹 (7)	村上 恵理 (19)	柳沼 彬 (30)	土橋 知紘 (36)	富岡 創紀 (37)
友野 行晴 (1)	瀬戸てるみ (8)	武井みどり (20)	山科 勇士 (30)	佐野 彩音 (36)	潮田 綾菜 (37)
板倉 晃希 (28)	岡崎 陽子 (10)	五十嵐 玄 (21)	関根 彩乃 (31)	植木 美結 (36)	川崎 翔太 (37)
事務局	成瀬 博文 (10)	丸川 怜子 (21)	柳井 麻希 (31)	清水 太一 (37)	丸山 桃寧 (37)
事務局長	布施 崇 (10)	井上 大史 (25)	石塚 俊輝 (31)	関根 海人 (37)	
小平 茂 (5)	東原 宣之 (11)	武内 保香 (26)	乾 凱雄 (31)	常盤 知里 (37)	
	櫻井 広仁 (13)	正岡 祥樹 (26)	上野 駿介 (32)	北川晴太郎 (37)	

同窓会からお願い

- ①同窓会運営に関するご意見がありましたら、上記の理事・事務局・幹事までご連絡ください。またできる限り、総会に出席していただき、その場で意見を寄せていただければ幸いです。よろしくをお願いします。
 - ②住所などで変更がございましたら、獨協埼玉高等学校同窓会までお知らせください。
 - ③同窓会は、同窓会活動を遂行する上で取得させていただいた皆様の個人情報を適切に保護し、会報、同窓会が主催協力の行事等の開催案内の送付、学校で保有する卒業生データベースの補完のための情報提供に、これらの情報を利用します。
- ※なお、情報の提供に同意されない方は、事務局まで届け出ください。
 ※最近、同窓会を名乗り、電話で個人情報を聞き出そうとしている団体があるようです。本同窓会では、電話での問い合わせは一切しておりませんので、ご注意ください。

会費納入のお願い

平成11年度の卒業生より、同窓会会則に従い卒業年度に、終身会費を納めていただくことになりました。つきましては、既に卒業された同窓生にも終身会費(1万円)を納入していただきたく、納入票を同封させていただきます。同窓会の運営資金となります。趣旨をご理解の上、ご協力よろしくお願いたします。※既にお振込みいただいた方には振込用紙は封入されておりません。

獨協埼玉高校 同窓会連絡先 〒343-0037 埼玉県越谷市大字恩間新田字寺前316 TEL048-977-5441 FAX048-977-2031
 事務局 (koda@dokkyo-saitama.ed.jp) URL http://www.dokkyo-saitama.com/

15期生ホームカミングデー報告



2018年10月14日、15期生のホームカミングデーが開催されました。

我々が過ごした当時にはまだなかった中学校棟のお部屋をお借りし、約100名の同級生が集まりました。当日は、女性の参加割合の方が多く、たいへん華やかなパーティーとなりました。当時お世話になった先生方にもご参加いただき、懐かしい高校生活を思い出すひと時となりました。卒業以来の再会も多くあったと思いますが、どんなに時が流れても、気持ちは高校時代へタイムスリップ！青春時代を共に過ごした仲間と再び集まったことに幸せを感じました。

玉山同窓会会長をはじめとする1期生の先輩方が作り上げた「40歳になったら学校へ行こう！」という素晴らしい文化が、今後も継続されていくことを願っています。

今秋の16期生も是非楽しんで下さい！

(15期生 金子 裕)



(収入)
 ¥3,000×97人
 =¥291,000
 計¥291,000

(支出)
 幹事代行費用
 ¥275,749
 (案内状郵送費、飲食代、お花代、雑費、運営一式含む)

(残金)
 ¥15,251
 ※尚、残金は、16期ホームカミングデーに寄付させていただきます。

S54、S55年
 生まれ

祝! 2nd成人式!

16期生ホームカミングデー開催!!

今年40歳を迎える16期生の皆さん(S54、S55年生まれ)、お待たせしました!!同窓会「ホームカミングデー」の開催です。20歳が大人の仲間入りの歳ならば、40歳は本当の大人として輝く歳です!

そんな記念すべき年に母校で、懐かしい仲間やお世話になった先生方と思いに残る1日を過ごしましょう!!
 一人でも多くの参加をお待ちしております!!

日時 令和元年 10月12日(土)

●一次会/受付13時30分、開会14時、閉会16時

●二次会/せんげん台駅周辺予定



代表幹事: 佐々木 顕さん

